

## 13. 技術者倫理

コンプライアンスの重要性が叫ばれるなか、技術者の倫理とは何か、何のために何をやればいいのか、明確な基準はないことを理解していただきます。重要事件を振り返り、三つの悪（改ざん、ねつ造、盗用）と、4つの観点（尊厳、公開、一般化、黄金律）を解説します。

組織として対応すべき基本に基づいて、ケーススタディを体験し、いわゆる PBL(Problem Based Learning) の手法を用いて行います。企業の技術者、管理者向けの技術者の視点からの講義です。コンプライアンス関連の事件が後を絶たず、日本の腐敗度指数は G7 中 5 位と振るわない。過去の不祥事を振り返り、ニューヨークのビル構造設計事件に学びます。そして、対策の一般論を検討しつつ、スタディを通して、答えのない答えを出してゆく難しさを体験していただきます。

**Point!**

- コンプライアンス：技術者倫理とは
- グループスタディで難しさ体験



主催：一般財団法人地域産学官連携ものづくり研究機構  
 参加費：MRO 賛助会員 2,000 円（一般：4,000 円）  
 会場：テクノプラザおおた研修室 太田市本町 29-1 Tel:0276-50-2100 Fax:0276-50-2110  
 募集人員：15名程度。なお、応募人数が少数の場合は研修を中止することがあります。ご了承ください。

日程

研修内容

- 8/7(水)  
9:00～12:00
1. 研究者倫理の典型としてのバイオサイエンス関係のねつ造、改ざん、盗用の3悪
  2. 自動車のハブ破損、クラッチ破損による死亡事故など、人命にかかわる事例、そして燃費と排気の問題
  3. ミス対応の見本とされる、ニューヨークのビル構造設計問題で、企業のあるべき姿を見る
  4. 正しいことの4つの観点、尊厳、公開、一般化、そして黄金律
  5. グループワークを、事例に基づいて行い、答えのない答えを求める

\*講師プロフィール

志賀聖一（ものづくり研究機構リサーチフェロー）岩手大学卒、東京大学大学院修了  
 職歴：群馬大学教授、ものづくり研究機構リサーチフェロー  
 専門分野：熱流体工学、内燃機関における燃焼、液体の微粒化

●HPから直接お申し込みができます



受講料について

- 受講後に請求させていただきます。支払いは、銀行振込とさせていただきます。MRO スキルアップ研修は、地域の中小企業のみなさまの便宜を図り、材料費、資料代、交通費などを勘案した最低限の受講料を設定しています。大変恐縮ながら、振込手数料につきましては、受講者様にご負担をお願いします。
- キャンセル料：開催日1週間前までは請求致しません。1週間以内の場合は全額を請求いたします。キャンセルの連絡は、必ずメール・FAXなど記録の残る手段をお願いします。注）1週間：MRO（当財団）の6勤務日前17時までとします。

- 問い合わせ申し込み先：一般財団法人地域産学官連携ものづくり研究機構 tel：0276-50-2100、fax：0276-50-2110  
 E-Mail：mrokenshu(at)mro.or.jp ※(at)を@に変えて送信してください。

### 13. 技術者倫理受講申込書

ご芳名（ふりがな）：

所属

役職

ご芳名（ふりがな）：

所属

役職

会社名

住所 〒

TEL

FAX

E-Mail